科目名	近代文学特講Ⅱ	
担当者	嶋田 直哉 / SHIMADA, Naoya	
科目情報	人間文化＜日本語日本文学＞ / 選択 / 後期 / 講義 / 2単位 / 3年次	
科目概要	授業内容	具体的にテキストを読み、映像を観ながら「演劇」について多角的に検証する。
	到達目標	「演劇」を楽しむのはもちろんのこと、劇作家の思考＝試行を理解する。
授業計画	(1) ガイダンス　「演劇」とは何か？ (2) 「演出」を考える（1）　『蝶々夫人』の成立 (3) 「演出」を考える（2）　『蝶々夫人』の演出 (4) 「演出」を考える（3）　『蝶々夫人』の翻訳 (5) 「戯曲」を読む（1）　岸田國士を知る (6) 「戯曲」を読む（2）　岸田國士を読む (7) 「戯曲」を読む（3）　岸田國士作品の上演 (8) 現代演劇を考える（1）　井上ひさし (9) 現代演劇を考える（2）　蜷川幸雄 (10) 現代演劇を考える（3）　野田秀樹　夢の遊眠社時代 (11) 現代演劇を考える（4）　野田秀樹　ＮＯＤＡ・ＭＡＰ以降 (12) 現代演劇を考える（5）　平田オリザ (13) 現代演劇を考える（6）　ケラリーノ・サンドロヴィッチ (14) 現代演劇を考える（7）　ゼロ年代の演劇 (15) 総まとめ	
自学自習	事前学習	受講までに実際に演劇作品を劇場や公共ホール、あるいは映像で観ておくことが望ましい。
	事後学習	各授業終了時にコメントシートを記入し提出。
使用教材・参考文献	【教】教科書は特に使用しない。授業中に配布するプリントを用いる。 【参】扇田昭彦『日本の現代演劇』（岩波新書）ISBN-10：4004303729	
成績評価方法と基準	〈基準〉演劇に対する理解、関心が深められれば合格とする。 〈方法〉学期末レポート70%、受講態度20%、コメントシート10%	
備考		